【部課名： 保険福祉部障がい福祉課　　】

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
住宅改造等助成事業（住宅改造助成事業）	在宅の重度障害者が住み慣れた地域で自立し、安心して生活ができるようにするため、日常生活の最も基礎となる住宅の改造に必要な経費を助成することにより、障害者の生活の利便の増進を図る。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	住宅改造費用の助成により、在宅の重度障がい者が住み慣れた地域で暮らし続ける居住環境の整備を図ることができた。 指標が上がることが期待される。	府補助金制度と連携し、障がい者が自宅で安心・安全に暮らすための補助事業であり、ニーズがあることから、現行通り事業を行うことが必要である。申請内容について障がい状況によりさまざまであり、対面で相談を受けながら丁寧に進めていくため、窓口対応が望ましいが、オンライン申請等ができるよう整備をしていく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	334	168
R7決算見込額	219	109
R8予算額	800	400

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
住宅改造等助成事業（身体障がい者自動車改造助成金）	身体障害者が就労等に伴い自動車を取得する場合、その自動車の改造に要する経費を助成することにより、身体障害者が住み慣れた地域社会の中で自立し、社会参加の促進に資することを目的とする。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	自動車改造に係る経費を一部助成することにより、障がい者の社会参加や自立に貢献できている。 指標が上がることが期待される。	今後も継続していくことが望ましい。現在は手帳取得時に制度について説明を行っているが、今後より周知を行っていく。 事業の性格上窓口での相談、申請が望ましいが、一部手続きにおいてオンラインでも可能とするよう整備を行う。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	200	200
R7決算見込額	100	100
R8予算額	100	100

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
身体障がい者福祉大会等実施事業	1．身体障害者福祉大会 身体障がい者の活動の促進及び相互の親睦を図り、その福祉を増進することに資する行事を実施する。 2．障がい者レクリエーション大会（泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催）にて軽運動会を実施。 3．泉大津ふれあい大会（泉大津市ふれあいキャンペーン実行委員会主催）	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	毎年度障がい者当事者が楽しみに参加している事業であり、行事や文化芸術鑑賞に触れることにより、地域の中で社会参加を促すことができている。 指標を上げることが期待できる。	障がい者の社会参加のためのイベントとして着実に実績を積み重ねてきた事業である。ここ２年間で取組の見直しを行い、その結果、ふれあいキャンペーン実行委員会に参画している団体・事業所が徐々に増えつつある。今後も引き続き取組内容の再考と市内事業所等に広く呼び掛けて輪を広げ、事業の発展的継続と障がい者が地域でいきいきと暮らすことができる地域づくりを進めてい

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	1,484	221
R7決算見込額	846	211
R8予算額	1,419	279

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
団体等育成支援事業（障がい福祉課）	障がい者の総合的な支援体制の整備のため、障がい者関係団体の活動を支援し、障がい者への支援体制の整備・充実を図る。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	障がい者の総合的な支援体制の整備のため、身体障害者福祉会及び精神障害者家族会の活動を支援することにより、身体障がい者及び精神障がい者への支援体制の充実を図ることができた。なお、団体の活動が豊かになることは、「安心して自分らしく暮らせるまちだと思う市民の割合」指数の向上に寄与している。	障がい者の総合的な支援体制の整備のため、引き続き障がい者関係団体の活動を支援する必要がある。しかしながら、団体加入者数が減少し今後の活動が危ぶまれていることから、これからの世代のニーズに沿った活動目的や運営方法を考える必要がある。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	150	150
R7決算見込額	150	150
R8予算額	467	150

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
福祉タクシー事業	在宅の重度障がい者（児）に対し、タクシーの利用料金の一部（初乗り運賃相当分）を助成することで、生活行動範囲の拡大と社会参加を促進し、重度心身障がい者（児）の福祉の増進を図る。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	タクシー利用料金の一部助成により、在宅の重度心身障がい者（児）の外出を促進することできた。 なお、近年の利用数の減少については、タクシー運賃の値上げ等が要因として考えられる。	障がい者の社会参加のための支援策として一定のニーズがあり、着実に実績を積み重ねてきた事業である。 特筆すべき課題は現状ないため、引き続き現行どおり事業を継続する。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	7,989	7,989
R7決算見込額	7,508	7,508
R8予算額	13,609	13,609

事業名	事業目的/概要	総合計画の指標	取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
軽度難聴児補聴器交付事業	障害者総合支援法に基づく補装具費の支給及び大阪府難聴児補聴器交付事業実施要綱に基づく補聴器の交付の対象とならない軽度の難聴児に対して、補聴器の購入等に要する費用の一部を支給することにより、軽度の難聴児の言語及び生活適応訓練を促進し、もって福祉の増進を図る。	指標 / 総計の現状値 / R7実績値 障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま / 45% / 47.0% 障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数 / 18人 / 45	軽度難聴児の補聴器購入費への一部助成を行うことにより、同児童の生活や学習環境の向上が図れた。指標を上げていくことが期待される。	事業の周知が進み、申請者が増えている。今後も母子保健及び教育関係部署及び府と連携しながら制度の周知と制度の早期利用促進に努めていく。

総合計画の位置づけ	
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます

事業費（うち市負担額）【千円】		
R6決算額	75	0
R7決算見込額	115	0
R8予算額	169	0

事業名		事業目的/概要			総合計画の指標			取組みの成果/指標への影響	事業の課題/今後の取組み
暮らしやすい地域づくり推進事業		事業者に求められる社会的障壁の除去に係る必要かつ合理的な配慮について、その提供に要する費用の全部又は一部を助成することで事業者が合理的な配慮を行いやすいように支援することにより、誰もが暮らしやすい地域づくりを推進するとともに、合理的配慮の提供に関して地域社会全体の意識向上を図			指標	総計の現状値	R7実績値	市内事業者等が本事業を利用したことにより、スロープや筆談ボードの購入、手すりの設置等により、高齢者・障がい者等が店舗など事業所を利用しやすい環境が整備され、市民が市内を外出しやすくなると同時に、合理的配慮の提供に関しての理解啓発が広がっている。	制度の周知をすすめ、本制度の利用を促すことを通じて障がい者等への合理的配慮の提供に関する理解をより広げることが大きな課題である。
総合計画の位置づけ					障がいのある人が安心して自分らしく暮らせるま	45%	47.0%		
基本目標	みんなが生き生きと心豊かに健やかに暮らせるまち				障がい福祉サービス等に係る各種研修の参加人数	18人	45		
個別目標	障がいの有無にかかわらず誰もが共に生きられるまち	事業費（うち市負担額）【千円】							
		R6決算額	2,665	658					
個別目標の方向性	障がい者が地域社会で自立し安心して暮らせる環境整備を進めます	R7決算見込額	883	220					
		R8予算額	3,130	782					